

(様式2(1))
目標達成計画

事業所名 三田温泉シルバーホーム
作成日 : 平成31年 2月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49-(22)	外出機会は確保しているがまだまだ回数的にも不十分と考える。	ご利用者の希望に沿えるようにしていきたい。近隣へのドライブ、喫茶店等、ゆっくりとくつろげる場所への外出機会を増やしていきたい。	ホーム前でお茶を飲んだり、日向ぼっこをしたり、外の風にあたる機会を多く持つ。道の駅等の喫茶店でお茶を飲む機会を作る。	3ヵ月
2	8-(7)	成年後見人制度を必要とする高齢者は増加が予想されます。権利擁護の研修、質問に対する職員の対応力が必要。	職員の権利擁護の理解を深める十分な研修の継続。権利擁護に関するパンフレット等の資料を常備していく。	権利擁護に関する研修を継続することと、パンフレット等の資料を窓口に常備し、質問や問い合わせにしっかり応えられるだけの対応力をつける。	6ヵ月
3	11-(10)	介護方法についての意見交換は多く出されているが、運営に関する意見は少なく感じている。	運営に関する意見や提案を気楽に出していただき、業務に反映していきたい。	会議までに匿名でもよいので自由に意見を書いてもらう。	6ヵ月
4					月
5					月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。